

人生の記念写真プレゼント、加野さんと第一子の贈呈

今年から始まった「人生の記念写真プレゼント」のトップを切って、8月13日、町から上岐登牛行政区の加野真一さん(81)に高級額入り写真を贈呈しました。



今年7月中旬、自ら手をかけて育てた花々が咲き誇っている自慢の「かの花園」で撮影しました。奥さんの富美子さん(77)、孫の芳明君(9)と3人一緒に撮った一枚です。

町内の商業写真家が撮影した写真(6つ切り)を、ウッドパンひがしかわ(森武代表)の町内木工業者が製作した手作り額に入れました。

加野さんご夫婦は、今年で結婚53年目。今も現役で4・9畝の農地を耕作、経営しています。元気の秘訣は「歳を勘定しないこと」と言い「病気ひとつしたことがない」ことを誇りに充実した毎日です。

人生の記念写真プレゼントは、今年度から町の事業としてスタ

ートしました。①生後100日祝いの記念(随時)②傘寿(さ んじゆ)記念(1月1日現在で 数え歳80歳)―という

2つの節目を、記念写真の無料プレゼントでお祝いしよう、というものです。

今年の傘寿祝い記念は、町内70人、生後100日記念は約60人を見込んでいます。

M-P賞の甲子賞日本六小谷野上藤選手

プロ野球チーム・日本ハムフアイトーズ選手に贈る月間MIP賞の6月賞に小谷野栄一選手、7月賞に工藤隆人選手が選ばれました。8月21日、札幌ドーム球場で板谷重徳農協組合長、藤田裕三商工会長が2人に本年度東川産米・ほしのゆめ1年分、さらに天人峡温泉、旭岳温泉ペア宿泊券を贈りました。



小谷野選手は、6月中20試合に出場。守備では1塁手、3塁手、左翼手と幅広くこなし、勝負強い打撃で15安打を放つ活躍をしました。工藤選手は、7月中18試合に出場。打率5割4分とチームの勝利に貢献しました。

願がかなった「アートフェスタ」の大学生スタッフ

フォトフェスタの大学生スタッフリートギャラリー企画を実現に導いた仕掛け人の元女子大生が、婚姻届を当町に提出に訪れました。8月17日、届け出を済ませ、タイムカプセルにもなる記念台紙(ポケット付き)をもらった

二人は幸せいっぱい。名古屋市内で新婚生活をスタートします。札幌出身の旗手茂明さん(35)、早奈恵さん(23)旧姓山本



さん。新妻の早奈恵さんは、4年前札幌学院大2年在学時、道内の大学生に呼びかけてフォトフェスタで「国際ストリートフォトギャラリー2004」開催を実現させた仕掛け人。

この企画は現在、全国からの応募写真を路上展示する北海道写真月間の「東川国際ストリートギャラリー」に発展し、各種催しの中

で、年々規模が大きくなっています。

二人は札幌市内の会社に勤めていた先輩、後輩の間柄。茂明さんが、昨年新入社員として入社してきた早奈恵さんを見そめました。二人の初々しい気持ちを封印し「子供は4人でも5人でも」と茂明さん。

活動的な早奈恵さんは名古屋市内へ転勤後も「やっぱり何か働きたいな」。これからも東川の応援団になります」と、さっそく写真の町倶楽部に入会しました。